

『多文化共生』 事業報告書

③企画【学び×祭り Education Festa】

2024年7月27日(土) 杉並区立大宮小学校【学びの交流体験 ～多文化共生～】

公益社団法人東京青年会議所杉並区委員会 地区事業

1. 事業実施背景

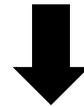
※本事業は3カ年計画の事業となり、今年度が1年目となります（2024年→2025年→2026年）

- 杉並区は、2023年の総合計画・実行計画改定で、新たに「多文化共生」を施策に掲げ、区内在住外国人の支援を充実・発展させていくことを明記するなど、多文化共生社会の推進に向けた取り組む方針を出した。
- それは、少子高齢化に伴う人口減少社会において在住外国人が増加している状況で、互いの文化的違いを認め合いながらも地域社会の一員として共に生きていき、社会を創っていくためである。

【問題点】

- 外国人を取り巻く問題として「日本語能力の不足による問題」「ゴミ出しルール等地域の決まりに関するもの」「外国人が日本人と知り合う場の不足」等が挙げられている。杉並区でも、在住外国人数が2023年10月末現在19,058人と、この十数年で50%以上増加しており、同様なことがいえる。
- 多文化共生社会の実現には、日本人が国籍・民族・宗教等の違いによる多様性を、寛容さを持って受け入れる共生意識が必要である。
- しかし、国内での外国人の存在や貢献に対する認識が不足している。
- 異なる文化の理解や認識の向上には、日本人と外国人が実際に触れ合い交流することが有効だが、こうした機会が少ない状況である。

【問題点】



【原因として】

- 異なる文化の理解や認識が不足している要因は、交流する機会があっても限定的であったり、交流の場があること自体を知らない人がいることである。また、大人だけでなく子供の環境においてもそういった機会が少ないことは問題とされており、その要因の一つとして多文化共生に関するプログラムが杉並区として定められていないことがあげられる。
- 杉並区教育委員会では、令和5年度より学習指導要領として多文化共生に関する項目を追加しているが、取り組み内容は各学校に委ねられており、杉並区としてプログラムが定められていないことが考えられる。

2. 事業実施目的と現状の課題

目的:

- 異なる文化を持つ人々への理解を深め、外国人を地域に受け入れるための多文化共生に関する意識が醸成された人材を、継続的に社会に輩出する仕組みを作る。

課題:

- 杉並区は、多文化共生を認知・理解する機会が少なく、平等に学ぶ環境が整備されていない。

3. 事業概要、連携団体(一部)

【準備フェーズ】

①企画: 多文化交流授業の「教材」を作成

2024年 7月1日(月)～7月4日(木)

【開催／実行フェーズ】

≪開催場所: 杉並区立大宮小学校≫

②企画: 学びの交流授業 ～多文化共生～

2024年 7月5日(金) 8:00～11:20 (授業時間 8:30～11:10)

③企画: 学びの交流体験 ～多文化共生～

2024年 7月27日(土) 9:00～17:00 (開催時間 11:00～16:00)

【拡散／次年度フェーズ】

④企画: HP形式のデジタルプラットフォームを作成

2024年 7月1日(月)～7月31日(水)

⑤企画: 実行委員会の形成

2024年 7月22日(月) 9:00～17:00

産【民間企業】

≪東京フットボールクラブ株式会社(FC東京)≫

[学び×祭り]ブース出展、コンテンツ作成(ポルトガル語 学び動画、ミニドリル)

官【行政】

≪杉並区(後援)≫

事業内容への助言、PR

≪杉並区教育委員会(済美教育センター)≫

開催校の選定協力、教材の作成協力

学【教育機関】

≪杉並区立大宮小学校≫

学校授業(多文化共生)、[学び×祭り]の開催協力、教材の作成協力

≪エベレストインターナショナルスクール≫

[学び×祭り]多文化交流体験での協力

民【地域住民、NPO】

≪アクラス日本語教育研究所 代表理事 嶋田 和子氏≫

授業講師、教材作成、[学び×祭り]事業内容への助言

≪一般社団法人 杉並区交流協会≫

講師紹介、教材の作成協力、[学び×祭り]ブース出展協力、人員の派遣協力

≪NPO法人 CORE EDUCATION≫ [名称変更申請中 旧OS-Labo(略称)]

コンテンツ作成協力(授業動画、資料・報告書、プラットフォーム)、実行委員会 形成協力

③企画：学びの交流体験 ～多文化共生～ 1.【多文化の学び】児童、学生「学び・交流ブース」

(狙い)

FC東京と共に「多文化共生」について学べるブースを設置することで、保護者も含めた参加者に学びを波及させる

(内容)

1.【多文化の学び】児童、学生「学び・交流ブース」

有志の学生と共に、多文化共生の学びや体験ができるブースを設置

1) あいことばラリー (受付で配布、体育館内に「あいことば」用意)

- ・ 様々な言語の「あいことば」を活用して、色々なブースを巡ってもらった

2) 海外の遊び体験 (体育館、台湾夜市ブース) [企画・運営] 協力:杉並区交流協会(交流協会職員、台湾留学生、ボランティア)

- ・ 杉並区交流協会による台湾夜市の遊びブースを作成、台湾留学生と交流しながら遊びを体験してもらった

3) 「多文化共生」の学び体験 (体育館、学び体験ブース) [動画編集・資料作成] 協力:NPO法人 CORE EDUCATION

- ・ ②企画の授業内容や「意見・質問・回答」の内容展示、授業動画の資料を配布し、来場者に学びを提供した
- ・ エベレストインターナショナルスクール児童と大宮小学校の生徒を集め、「多文化共生」についてのディスカッションを行なった。通訳スタッフを中心に、AI翻訳ツールも活用しながら言語や文化の違いについて話しながら交流した

③企画：学びの交流体験 ～多文化共生～ 1.【多文化の学び】児童、学生「学び・交流ブース」

1) あいことばラリー



「ありがとう」をあつめてアンケートにこたえとプレゼントがもらえるよ

ポルトガルのありがとう _____
台湾のありがとう _____
ほんこのありがとう _____

アンケート回答はQRで 

2) 海外の遊び体験 (台湾夜市)



3) 「多文化共生」の学び体験



(評価)

- 1) 「あいことば」を集めながら、色々なブースを回る参加者が多く見られた。アンケート回収にも繋がった
- 2) 非常に好評で、多くの参加者が挑戦していた。保護者も「ビン釣り」体験と一緒に楽しむ姿が見られた
- 3) 双方の文化や言語を理解し合う交流を行うことができた。授業動画の資料も保護者に好評であった

来年度は「交流・学びの機会」をさらに増やしていけば、より良い体験機会の提供が望めると考えられる

多文化共生を学ぼう



【ハイライト】多文化共生 授業

<https://youtu.be/Cj8V8a9tffA>



【トウさん】 from 中国

<https://youtu.be/QewXBpAzR9A>



【嶋田 和子 先生】7/5(金) 大宮小学校

<https://youtu.be/BWGAwnpIDH0>



【パウデルさん】 from ネパール

<https://youtu.be/pZv2O3LELGk>

3) 「多文化共生」の学び体験

《授業動画の配布資料》



【やさしいせかい】MV

[https://youtu.be/2fYxhoUwqAg?
si=oOLvy6jp6fESiVkf](https://youtu.be/2fYxhoUwqAg?si=oOLvy6jp6fESiVkf)



【オウさん】 from カナダ

<https://youtu.be/AZhoTrvWetU>

Let's learn about multicultural coexistence.



【 Highlight video 】

Multicultural coexistence class

<https://youtu.be/UECB6dRxPNE>



【 Ms. Tou 】 from China

<https://youtu.be/mj3VMvXswV0>



【 Ms. Kazuko Shimada 】

Friday, July 5, Omiya Elementary School

<https://youtu.be/eGBFjErD7lw>



【 Ms. Paudel 】 from Nepal

<https://youtu.be/hl7YYBgu46o>

3) 「多文化共生」の学び体験
《授業動画の英語字幕版》



【 Kind World 】 Music video

<https://youtu.be/Ab0TzGqS9eI>



【 Ms. Ou 】 from Canada

<https://youtu.be/KhrdFkpiZiA>

③企画：学びの交流体験 ～多文化共生～ 2.【多文化の体験】FC東京「学び・体験プログラム」

(狙い)

FC東京と共に「多文化共生」について学べるブースを設置することで、保護者も含めた参加者に学びを波及させる

(内容)

2.【多文化の体験】FC東京「学び・体験プログラム」 [企画・運営] 協力：東京フットボールクラブ株式会社 (FC東京)

FC東京が「多文化共生の学び体験」を促す、プログラムやブースを設置

1) FC東京 ポルトガル語 学び動画 (体育館ステージ上)

- ・ サッカーに使用するポルトガル語の簡単な指示用語を、映像を視聴して学んでもらった

2) FC東京 ウォーキングフットボール (体育館、多言語体験ブース)

- ・ 映像で学んだポルトガル語を使ってウォーキングフットボールを行い、体を動かしながら多言語を体験してもらった

3) FC東京 ミニドリル (体育館、ミニドリル配布ブース)

- ・ ミニドリル形式の教材を用意しておき、学んだことの復習として実施してもらった

③企画:学びの交流体験 ~多文化共生~ 2.【多文化の体験】FC東京「学び・体験プログラム」

1) ポルトガル語 学び動画



2) FC東京 ウォーキングフットボール



3) ミニドリル



(評価)

- 1) ウォーキングフットボールの中で「ゴラッソ!!(ナイスゴール)」と使われるなど、体験的に学んでもらった
- 2) 非常に好評で、エベレスト児童や保護者など「年齢・性別・国籍」問わず、楽しみながら交流してもらった
- 3) 体験後の復習として実施してもらった。学んですぐに使用する児童もあり、一定の効果が見られた

来年度も「交流体験ブース」を充実させ、「年齢・性別・国籍」問わずに交流できる機会を提供していく

③企画：学びの交流体験 ～多文化共生～ 3.【多文化の食事】地域飲食店「食の体験ブース」

(狙い)

FC東京と共に「多文化共生」について学べるブースを設置することで、保護者も含めた参加者に学びを波及させる

(内容)

3.【多文化の食事】地域飲食店「食の体験ブース」

多文化の食事を体験できるブースを設置

1) 多国籍料理の味わい体験(校庭、飲食ブース)

- ・ 多国籍の食を味わう体験ができる飲食スペースを設置する



③企画：学びの交流体験 ～多文化共生～ 3.【多文化の食事】地域飲食店「食の体験ブース」

1) 台湾料理(ルーロー飯)



2) イタリア料理(ナポリピッツァ)



3) 大阪たこやき + 多国籍たこやき



(評価)

1) 非常に盛況で、様々な海外料理を味わってもらうことができた。屋台数の増加を望む声も多かった

来年度は「食の体験ブース」をさらに充実させ、「多文化の食事を味わう機会」をより多く提供していく

③企画:学びの交流体験 ~多文化共生~

【Education Festa】配置図



【学び×祭り～Education Festa～】は子どもや大人、そして様々な国籍の人たちと一緒に地域の中で「多文化共生」について楽しみながら学べる体験イベントです。「海外料理」「学び＆遊び体験」FC東京の「ウォーキングフットボール」などプログラムは満載！いろんな文化を体験しながら、新たな学びの形を一緒に探しましょう。

海外料理 & お祭り料理

様々な海外料理のキッチンカーが出店！

- ピザ
- クレープ
- かき氷
- など

定番の料理もあるよ！
※内容は変更になる場合あり

ウォーキングフットボール 多言語体験

プロ選手の動画で学んでウォーキングフットボールを楽しもう！

FC東京チームマスコット 東京ドロンパ

学び体験 & 遊び体験

キッチンカー体験コーナー

スタンプラリー 制覇で景品GET

ふわふわ 巨大ドロンパ君も来るよ！

詳細は裏面をチェック



【Education Festa】フライヤー

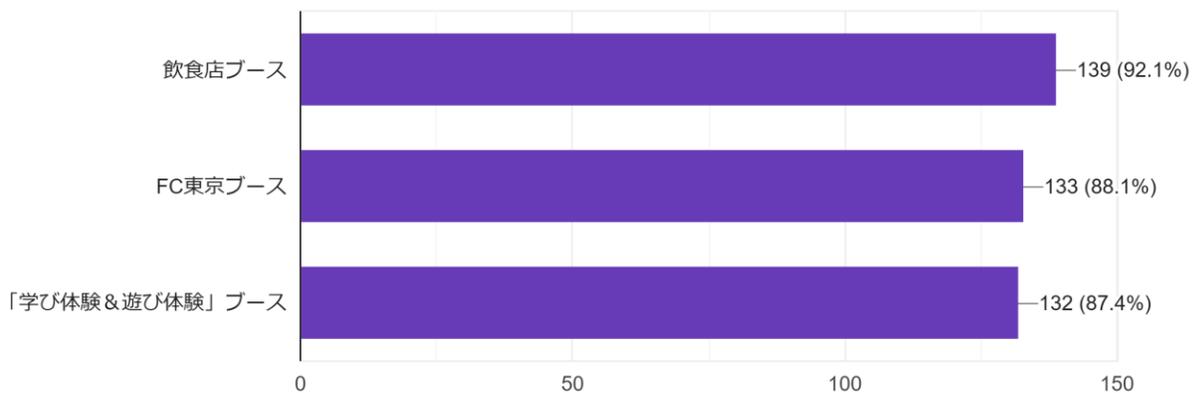
【FC東京ドロンパ ふわふわ】

【FC東京 キックターゲット】

【③企画：学びの交流体験 ～多文化共生～】アンケート

どのブースに参加しましたか？（複数回答）

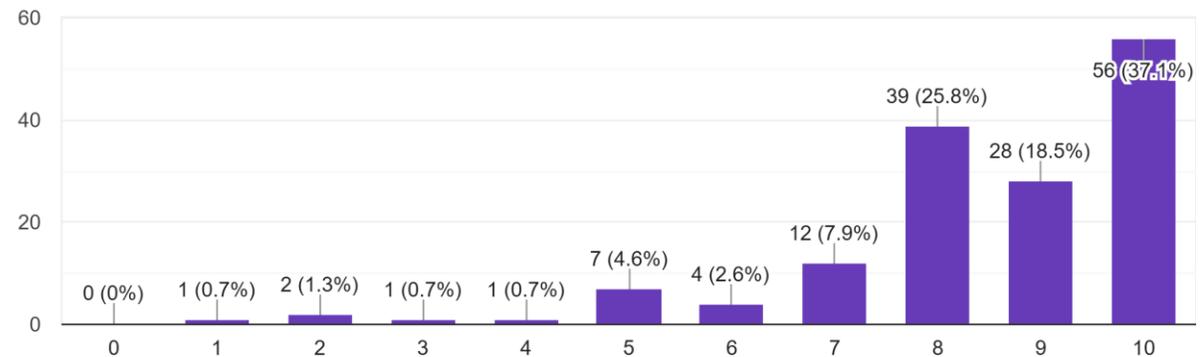
151件の回答



89.2%（全体平均）

いろんな文化を体験することはできましたか？

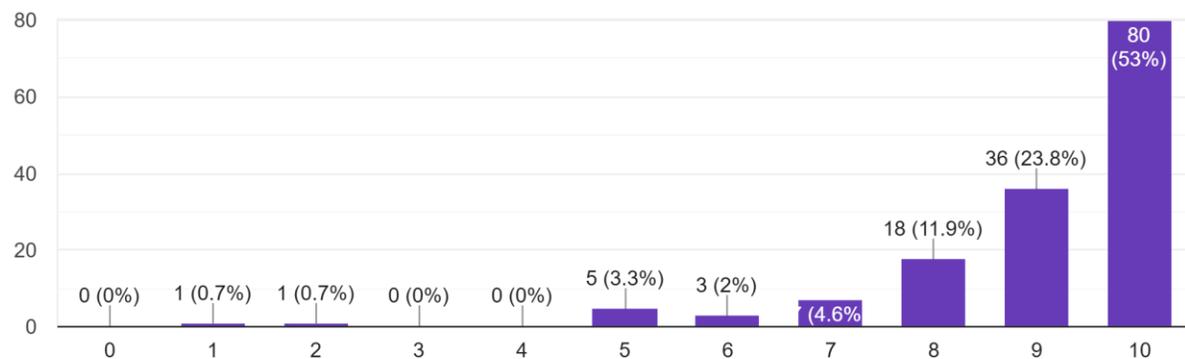
151件の回答



89.3%（7～10点）

楽しみながら学ぶことはできましたか？

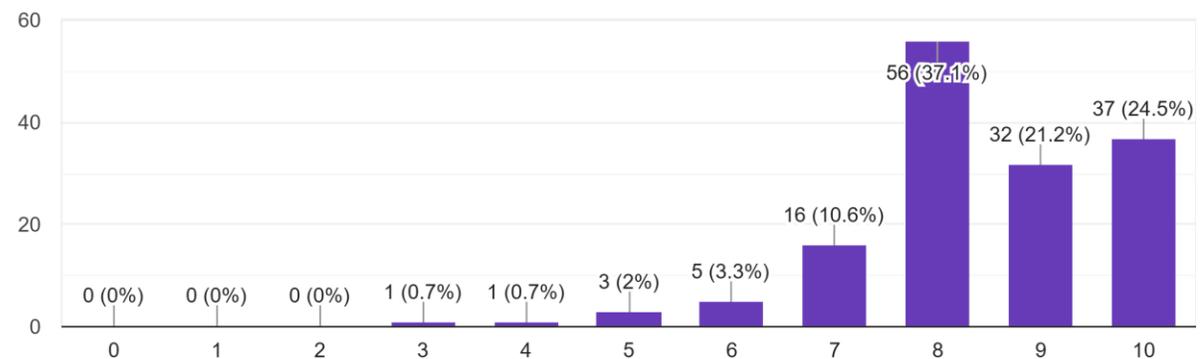
151件の回答



93.3%（7～10点）

多文化共生という考え方の大切さは理解できましたか？

151件の回答



93.4%（7～10点）

③企画:学びの交流体験 ～多文化共生～(検証1)

(検証1)

- ・「学びの交流体験」アンケート

(結果)

- ① 「学びの交流体験」で目的に沿ったアンケートの結果として、「7～10点」を示す回答が90%前後という結果となった
- ② 記述式アンケートの回答として「楽しめた」、「身近で多文化に触れることができた」、「暑さ対策もしていて安心した」、「小さい子も楽しめる体験が沢山あって良かった」、「来年も開催してほしい」といった意見を複数いただくことができた

(結論)

- ① 全体として「7～10点」を高比率で得られたことから、満足度の高い事業を行なうことができたと考えられる
- ② 直接いただいた声も含め、非常に好感触な意見を多くいただくことができた。来年は、実行委員会を立ち上げることで外部団体のさらなる協力も得ながら、早い段階で企画に取り組んでいくことで、より良い事業を提供していく